

試験研究（中間）評価整理表

試験研究機関名 水産試験場
 所管課 農業振興課研究開発室

| 整理番号 | 施策目標等 | | 試験・研究課題名 | 研究目的 | 研究概要 | 研究期間 | | 評価結果 | 理由 | 外部評価アドバイザー意見 |
|------|---------------|---------------------------|------------------|---|--|------|----|------|---|---|
| | 施策目標 | 研究課題分類 | | | | 始期 | 終期 | | | |
| 1 | 豊かで魅力ある水産業の振興 | 地域資源の高度活用技術の開発 | 県産主要魚種の優位性 説明 | 県産主要魚種の脂肪の乗り具合等の成分を魚種別、季節別に調査し、また他地域の魚と比較する等で魚価向上につながる優位性を明らかにする。 | 本県水揚げ主要魚種の脂肪量など的一般成分を把握し、成分の季節変化や比較から、県産主要魚種の旬を確認する。 | 18 | 22 | A | 粗脂肪の分析結果ではアオメエリには季節変動があり、また他地域産よりも高いことが確認できた。 ヒラメ等の他魚種については、粗脂肪に加え、うま味成分等の他成分にも着目して季節変動等の調査を進めていく。 | ・今回得られた研究成果をどのように販売戦略に生かしていくかが重要。 ・研究は順調に進んでいると考えられる。脂肪酸組成や脂質クラスのデータを、次の機会に伺いたい。 |
| 2 | 豊かで魅力ある水産業の振興 | 地域の農林水産業を支援する高度解析・予報技術の開発 | オキアミ漁況予測手法の開発 | オキアミの漁場形成要因を解明して漁況予測手法を開発する。得られた漁況情報を提供することにより、船びき網漁業者の効率的な操業を促進する。 | また、本県産と競合産地産品の旬における成分及び餌料生物比較から、県産主要魚種の優位性を把握する。 | 18 | 22 | B | 海況変動により漁況を予測することが可能と考えられた。 今後、海況変動の解析を進め、指標についての検討を行うことで、漁況予測の精度向上と技術的安定が期待される。 | |